

石塚アポロ県政活動報告 県政レポート アポロ21号

2021.1.1 第21号 発行人／石塚吾歩路

謹賀新年

旧年中はお世話になり、有難うございました。
コロナ禍の中、新しい生活スタイルを取り込み、
様々な工夫を考える毎日ですが、
皆様はいかがおすごですか。
本年もどうぞ宜しくお願ひ致します。
県政報告21号を作りました。
皆様からのご意見・ご要望を頂きながら、
愛知県やこの地域の発展の為に、
これからも日々努力をして参ります。

令和三年 元旦

愛知県議会議員 アポロ 石塚 吾歩路



本年の主な予定

◆新春賀詞交歓会は中止とさせていただきます。

2月 定例議会

- 5月 AGCゴルフ大会(チャリティー)
- 6月 定例議会
- 10月 定例議会・オータムセミナー(吾翔会)
- 11月 秋の親睦旅行(総会)・県政報告会
- 12月 定例議会
- 随时 各地区お茶会・県政報告会・要望会

新しいチャレンジ

私の活動

○ご挨拶・県政報告



○イベントで



11月議会報告

令和2年度11月補正予算

一般会計予算

2兆8,579億6,661万5千円

区分	令和2年度			令和元年度 最終予算額
	補正予算見込額	既決予算額	計	
一般会計	19,203,398	2,838,763,217	(113.3%) 2,857,966,615	2,522,360,942
特別会計	1,154	1,355,373,018	(101.7%) 1,355,374,172	1,333,189,027
企業会計	△53,231	254,639,799	(82.7%) 254,586,568	307,718,226
合 計	19,151,321	4,448,776,034	(107.3%) 4,467,927,355	4,163,268,195

注:計画の()は令和元年度最終予算額に対する比率を示す。

診療・検査医療機関の設備導入を支援

予算額 4,118,972千円(新規)

「診療・検査医療機関」が行う設備整備を支援することにより、発熱患者等の外来診療・検査体制の整備を図ります。

新型コロナウイルス感染症対策のPCR検査体制を拡充

予算額 3,267,720千円

インフルエンザ流行期の新型コロナウイルス感染症の検査の需要増大に応えるため、民間検査機関及び医療機関を活用した行政検査を推進することで、検査能力をさらに拡充します。

新型コロナウイルス感染症の影響により、収入が減少した世帯に対する貸付事業を拡大

予算額 3,760,991千円

新型コロナウイルス感染症の影響による休業や失業により、収入が減少した世帯に対して、特例措置を設けている生活福祉資金貸付制度による生活費用の支援を行います。

○緊急小口資金

(一時的な資金が必要な方[主に休業された方])

	通常	特例措置(2020.3.25~)		通常	特例措置(2020.3.25~)
貸付対象者	緊急かつ一時的な生計維持のための貸付を必要とする低所得世帯等	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、休業等により収入の減少があり、緊急かつ一時的な生計維持のための貸付を必要とする世帯	貸付対象者	低所得世帯であって、収入の減少や失業等により生活に困窮し、日常生活の維持が困難となっている世帯	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、収入の減少や失業等により生活に困窮し、日常生活の維持が困難となっている世帯
貸付上限	10万円以内	学校等の休業、個人事業主等の特例の場合、20万円以内その他の場合、10万円以内	貸付上限	(2人以上) 月20万円以内 (単身) 月15万円以内 貸付期間: 原則3ヶ月以内	同左
据置期間	2月以内	1年以内	据置期間	6月以内	1年以内
償還期限	12月以内	2年以内	償還期限	10年以内	同左
貸付利子	無利子	同左	貸付利子	保証人あり:無利子 保証人なし:年1.5%	無利子

※世帯員の中に個人事業主等がいること等のため、収入減少により生活に困窮する者が必ずしもいること

【実施主体】(社福)愛知県社会福祉協議会

【受付窓口】各市町村の社会福祉協議会

ICT環境の整備の推進により新たな時代に相応しい教育を実現

予算額 2,244,530千円

各県立学校でのタブレット端末を用いた授業の本格導入に向け、効果的な活用の研究及び成果の早期発信を行うために、県立高等学校へ生徒用タブレット端末を追加整備します。

〒490-1202 あま市富塚長堀 53-1

Tel.052-445-1924

Fax.052-445-1944

<http://aporo-kouenkai.com/>

(((((県政情報を常に発信)))))

石塚アポロ

検索

アポロ後援会

検索

Facebook更新中!
友達リクエストよろしくお願いします!

リクエスト方法

① 石塚吾歩路で検索

f 石塚吾歩路

② 「友達になる」をクリック!

友達になる リクエスト完了



一般質問に立つ

新型コロナウイルス 感染症対策について

令和2年11月定例県議会(要点抜粋)

ワクチンの供給、県はどのように



質問

厚生労働省は、ワクチンが承認された場合、同意が得られ人に定期的に健康状態を報告してもらう安全性調査を検討して、来年前半までに国民全員分のワクチン保有を目指すとしており、接種に向けた準備を加速させております。

新型コロナウイルスのワクチンが早ければ春先にも接種が始まる可能性があると言われば、特効薬のない中で、県民の皆様が「ワクチン」に寄せる期待は大きく、ワクチン接種開始に向けて必要な体制を準備、確立することは極めて重要であると考えます。

今後ワクチンが実用化され、供給が始まつた際に、円滑に接種を実施できるよう、県としてどのように取り組んでいかれるのかをお伺い致します。

答弁(感染症対策局長)

ワクチン接種は市町村が主体となって実施し、県はワクチンの流通体制の確保や複数の市町村にまたがるような広域の課題の調整等を担います。本県としては市町村や愛知県医師会と既に意見交換や情報共有を行っており、必要な準備を進めているところです。また、国が確保

する予定のワクチンの一部は、超温での保管が求められるなど、通常のワクチンとは特性が大きく異なると言われておりますので、実際にワクチンの供給を行う医薬品卸売業者やその組合団体にも協力を要請し、ワクチンが円滑に流通されるよう努めてまいりたいと考えております。

今後、国によりワクチンが確保されたり、本県において速やかに接種が開始できますよう、地域の実情を把握している保健所が調整機能を發揮し、密に連携しながら、適切な接種体制確保に向けてしっかりと取り組んでまいります。

質問

市町村、医師会を始め関係団体と緊密に連携しながら、適切な接種体制確保に向けてしっかりと取り組んでまいります。

そこで、子供たちの健全な育成に向けて、学校における相談体制をさらに充実させていく必要があると想が予測されます。

県教育委員会では、現在、小中学校に459名、高等学校に54名のスクールカウンセラーを配置し、中学校では1週間に1回程度、小学校と高等学校においては、1か月に1回程度の相談活動が、全ての学校で行われています。また、スクールソーシャルワーカーにつきましては、拠点校となる高カウンセラーや、中学校8校に配置することも、小中学校に配置している28市町に対し、事業費の補助を行っております。

今年度は、議員お示しのとおり、スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーの追加配置を行っており、相談体制を整えました。新型コロナウイルス感染症の影響は、長期化することが想定されます。こうした中、文部科学省の来年度予算の概算要求では、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの追加配置を行っており、相談体制を整えました。新型コロナウイルス感染症の影響とともに増員する内容となつており、本県としましても、子供たちの心をケアする相談体制の充実について、しっかりと取り組んでまいります。

答弁(教育長)

この様に、家庭生活及び学校生活の両面において、子供たちが不安やストレスを抱えやすい状況となっている事から、年々増加している不登校がさらに増えたり、これまで以上に子供たち間のトラブルなどが増え、いじめ問題への対応がより必要になつたりする事が懸念されます。そうした中、県教育委員会は、

スタートアップ、社会的課題解決に向けて

県では、各医療保険者から提供を受けた特定検診・特定保健指導データの分析や、国民健康保険法適用した医療費の現状を立ち上げ、県行政のデジタル化全般に係る重要な事項を決定し、推進するとしています。また、個人向けのデジタル技術を活用した医療費の現状分析を行つております。

答弁(保健医療局長)

県では、各医療保険者から提供を受けた特定検診・特定保健指導データの分析や、国民健康保険法適用した医療費の現状を立ち上げ、県行政のデジタル化全般に係る重要な事項を決定し、推進するとしています。また、個人向けのデジタル技術を活用した医療費の現状分析を行つております。

質問

県では、各医療保険者から提供を受けた特定検診・特定保健指導データの分析や、国民健康保険法適用した医療費の現状を立ち上げ、県行政のデジタル化全般に係る重要な事項を決定し、推進するとしています。また、個人向けのデジタル技術を活用した医療費の現状分析を行つております。

答弁(経済産業局長)

具体的な取組の一つとして、喫緊の課題である新型コロナウイルス感染症をテーマとし、感染症をテマとして、喫緊の課題である新型コロナウイルス感染症をテマとし、

毎日の歩数が自動的に重圧管理され、一人ひとりの健康管理に御活用いただけます。さらに、血圧を記録する機器を連携したスマートフォンアプリを開発し、今年度から運用を開始しました。このアプリでは、「あいち健康マイレージ事業」として、歩数を記録するほか、毎日の歩数が自動的に分析を行つております。

県では、各医療保険者から提供を受けた特定検診・特定保健指導データの分析や、国民健康保険法適用した医療費の現状を立ち上げ、県行政のデジタル化全般に係る重要な事項を決定し、推進するとしています。また、個人向けのデジタル技術を活用した医療費の現状分析を行つております。

質問

県では、各医療保険者から提供を受けた特定検診・特定保健指導データの分析や、国民健康保険法適用した医療費の現状を立ち上げ、県行政のデジタル化全般に係る重要な事項を決定し、推進するとしています。また、個人向けのデジタル技術を活用した医療費の現状分析を行つております。

答弁(保健医療局長)

県では、各医療保険者から提供を受けた特定検診・特定保健指導データの分析や、国民健康保険法適用した医療費の現状を立ち上げ、県行政のデジタル化全般に係る重要な事項を決定し、推進